

令和4年度 第1回 西条市子ども・子育て会議 開催記録	
日時	令和4年12月21日（水）19：00～21：00
場所	西条市役所 本館5階 大会議室
参加者	<p>【委員：14人】 公立保育所保護者会長、西条市保育協議会会長、私立幼稚園園長、私立認定こども園園長、私立幼稚園教諭、小学校校長会長、学識経験者、主任児童委員部会長、青少年健全育成協議会会長、医師、商工会議所青年部会長、PTA連合会副会長、児童発達支援センター施設長、母子寡婦福祉連合会会長</p> <p>【市側：12人】 こども健康部長、こども健康部副部長兼子育て支援課長、保育・幼稚園課長、健康医療推進課長、健康医療推進課主幹、副課長兼子育て支援係長、副課長兼子育て世代包括支援係長、女性係長、母子保健係長、保育・幼稚園係長、保育・幼稚園担当係長、子育て企画係長</p>
次第	<p>1 部長挨拶</p> <p>2 協議題審議</p> <p>(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p> <p>(2) その他 公立保育所・認定こども園・幼稚園の再編に関する基本方針（案）について</p>
【協議題審議】 (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について	
幼児教育・保育の提供体制の進捗状況、地域子ども・子育て支援事業の進捗状況について 担当課から説明	
委員の発言要旨	市の発言要旨
<多様な事業者の参入促進・能力活用事業について>	
子どもが減ってきて、市内の保育園が定員をいつ減らそうかと考えている中で、ノウハウがない事業者の新規参入は考えられないし、許可を出す意味合いもないと思うが、どうか。	具体的な事例があるというわけではないが、可能性がゼロではない以上、事業を設定して体制を整えておきたいと考えている。
<認定こども園について>	
庄内保育所は河北こども園に統合されたが、保護者は柔軟に切り替えができています。幼稚園の重要性も大事と考える。行政としてはスムーズにしていると思うが、現場ではどうか。	—
幼保連携型認定こども園を運営している。平成30年に保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の3つの整合性が取れるようになった。同じ年代の子に同じ教育・保育をするよう法律上はなっている。1号認定は時間が違うだけである。	—

<子育て短期支援事業について>	
<p>ファミリー・サポート・センター事業と東予子ども・女性支援センターが対応しているため当該事業の利用実績はないとのことだが、主任児童委員の感覚としては、ファミリー・サポート・センター事業等にも課題を抱えている子ども・家庭が含まれていると想像するがどうか。</p>	<p>ファミリー・サポート・センター事業では、利用会員とサポート会員による面談をしてから利用することになっており、事情のある方については、ある程度話しをさせていただいている。</p>
<病児保育について>	
<p>病院で医師・看護師が対応するためか、保護者からは「預けたいが、経費がかかる」という声を耳にするが金額的にどうか。</p>	<p>1日2,000円というところが金額的に負担を感じられているのかもしれないが、運営に必要な経費ということでご理解いただきたい。近隣では、新居浜市2,700円、今治市2,000円、四国中央市2,500円となっている。</p>
<保育士の配置について>	
<p>世間では保育園での虐待が問題になっている。マスコミでは、保育士のストレスや保育士1人あたりに対する子どもの数が多いのではないかと言われている。保育士の獲得にこれから力を入れていかなければいけないと思うが、手厚く保育士を配置した場合の保育士の確保をどう考えているか。</p>	<p>国で基礎配置（0歳児3人に対して保育士1人、5歳児30人に対して保育士1人など）が決まっているので、それに基づき配置を決めているというのが基本。ただ、保育士がもう一人ついていないと安全確保ができないというお子さんがいる場合は加配をつけている。公立については、園児の希望もみながら、適正に配置している。保育士の配置ができれば、受け入れもできる状態である。</p>
<教育保育施設利用状況について>	
<p>西条市子ども・子育て支援事業計画の中に、令和2年度の教育保育施設利用状況とあるが、幼稚園や保育園を利用していない子が22.5%とあり、こういう子へのフォローをどうしているのか。私の感覚ではこれは多いと感じるが、どう考えているか。</p>	<p>幼稚園・保育園等を利用していないということだが、他の施設を利用している場合もある。全く施設を利用していない方についても、子育て支援センター等で母子と接する機会はあると考えている。また、家庭の教育方針で利用していない方もいる。この22.5%というのは、5歳児に限らず全ての就学前児童の割合であり、年齢層によっても割合は変わってくると考えられる。</p>

【協議課題審議】（２）公立保育所・認定こども園・幼稚園の再編に関する基本方針（案）について

基本方針（案）の素案を説明

再編の基本的な考え方

- ① 適正な施設規模の確保
- ② 公立保育所等の機能強化
- ③ 安全・安心な施設環境の確保

・公立施設：13施設

認定こども園：3施設、保育所：7施設、幼稚園：3施設

・公立保育所等の再編

河北保育所と燧洋幼稚園が河北こども園に（平成28年）

東予南幼稚園と東予南保育所が東予南こども園に（令和2年）

国安幼稚園と東予中央保育所が国安こども園に（令和3年）

庄内保育所が河北こども園と統合（令和4年）

・旧西条は私立が多く、旧東予・丹原・小松は公立が多い。

・まだ協議段階の案件ではあるが、委員のご意見を伺いたかった。

・まずは、基本方針を決めて、今後、利用者の意見を聞きながら計画を策定していきたい。

委員の発言要旨

- ・こういう時代は確実に来ると思うが、問題は、ひとつなくなっても他の施設に通えるという地区は良いが、たとえば保育所が1か所しかないところなくなったらどこに行くんだと。そこを民営化するとしたら新規参入者が出るかといったら難しい。保護者は車で送迎するから問題ないかもしれないが、地元でどう説明していくのか不安。単純にお金がかかるからなくすというだけでは難しい。なぜか小学校は全部残っているのに、保育所だけなくすという説明をどうするのか不安。でも、再編をしないと、子どもたちへのきめ細かなサービスはできないと思う。
- ・8月の総合教育会議で、小中学校、特に小学校の統廃合も検討していくという話が新聞に出た。小中学校の統廃合とこの再編を合わせていかないと、県立学校の再編が今問題となっているので、丁寧な説明が必要だと思う。この大きな問題については、いろんな方にも広く意見を聞くべきではないか。
- ・大変重要な案件だと思う。地理的な状況・歴史的な問題など複合的に配慮しなければいけないことだと思うが、これからの幼児教育・保育をどうするかという理念の部分は話し合うことができるのではないか。幼保一元化と言われて数年たっているが、保育所の独自性を残して単独で残すことができるのか、それとも統合等となるのか、西条市としてどう考えるかという理念を共有して、検討できるのではないか。
- ・南予で私立の3つの保育所を運営している園長から、5つの小学校が1つに統合されるので、小学校の隣にある3つの保育所の耐震補強を止められて保留になっているとの話があった。小学校の統廃合と一緒に考えないと市民のニーズに合わないと思う、
- ・庄内保育所は河北こども園に統合されたが、保護者は柔軟に切り替えができています。
- ・地図と保育所の位置、定員くらいが資料としてあれば多少は考えられたと思う。保育協議会では、園長が集まって話しはできる。現場の話を多少聞くのはありかと思う。